

# 1学年だより

西東京市立青嵐中学校

第1学年 学年便り

令和7年10月31日 No.25

## 少しづつ本格化してゆく校外学習

合唱コンクールも終わり、次の大きな行事は校外学習です。10月22日には各班での係分担が決められ、第1回の係会が実施されました。10月24日からは班ごとのテーマ決めと最初のルート考案が始まり、皆がワクワクしながら取り組む姿が伺えました。地元西東京市の魅力的な場所を訪問しつつも、校外学習の「学習」の面もしっかり果たせるように、目的をもって事前学習に取り組みましょう。



## 合唱コンクール作文紹介 C・D・E組

「1Cの最高の合唱コンクール」

1年C組 N・K

テストも終わり、いよいよ本格的に合唱コンクールの練習が始まりました。自由曲は、「COSMOS」に決まりました。友達たちは、金賞がとりやすい曲だ～とよろこんでいましたが、ソプラノパートの私は不安でした。課題曲よりもサビの音が高く、ましてや転調まであり、自分がうまく歌えるかわからなかつたからです。

練習でも、ピアノと歌声のズレ、曲の速さや強弱などの課題がたくさん出てきて、クラスのまとまりも悪くなる時がありました。しかし、伴奏者の人や指揮者の人、そしてパートリーダーの人たちが根気強く頑張ってくれて、クラスもそれに合わせて動き出しました。

いよいよ本番の日になりました。たくさん練習を重ねてきましたが、リハーサルの時は他クラスに圧倒され、みんな自信を無くしてしまっている様子でした。前日まで体調が悪かった人もいたり、いろいろな不安が重なり心拍が収まることはませんでした。

そして、私たちのクラスの番がきました。一年生の中でトップバッターということもあり、いくら深呼吸をしても耳にもう一つの心臓ができてしまった感覚が続きました。

まず、課題曲の「変わらないもの」が流れました。サビ前のリズムが、ピアノと歌声が合わない事が多くとても不安でしたが、うまくいっていて、これがライブマジックか、と少し安心しました。緊張で声はたくさん裏返ましたが、無事歌い切りました。

そしてついに COSMOS が始まりました。練習の時多かった歌詞ミスも無く、全力で歌うことができたと思いました。

クラスのパフォーマンスが終わり、安心感と共にもっと出来たかもしれないという後悔がありました。他クラスの歌を聴いた時、入賞できると口で言って、心の中ではずっと自信がありませんでした。

すべての学年の発表が終わり、ついに入賞クラスの発表が始まりました。

なんとなんと…～！1C組は銀賞でした。みんなでハイタッチした時、とても幸せな気分でした。体育祭でも優勝し、合唱コンでも入賞、という経験はなかなかできないことだと思うので、大切にしたいと強く思います！

「ついに来たか…。」小学校に入ってから6年間、発表会などのとき「ピアノ弾ける人はいますか?」みたいなことがあったけれど、やってこなかった。理由はもちろん、めんどくさ…やりたい人がいるならやる気のない僕がやるよりも良いことじゃないか、と思っていたからだ。

そんなことを考えながらあつという間に6年が過ぎ、もう中学生になっていた。合唱コンでもピアノを弾く気はなかったが、なぜかすることになった。ある日友のところに向かったとき、「Kいいところにきた。」と言ってきた。嫌な予感。「Kはピアノ弾けるんだよ!」「…え?」その日はこれで終わった。1学期の終わりになぜか呼ばれる。楽譜を渡される。帰される。なぜか伴奏者になっていた。最初は「うわあめんどくさい…」と思っていたが、なにか特別な感じがしてニヤニヤしていた。

夏休みに入った。それから練習が始まった。2学期のスタート。バッチャリになっていたのに、なかなか音楽の授業がなかった。早くみんなに見せつけたかった。それから初めての音楽の授業。「指揮者、伴奏者お願いします。」「えっ。Kピアノ弾けるの?」ちょっぴり嬉しい歓声。それから美しい僕の演奏。どうだ~と思っていた。

それから2回目の音楽の授業、盛大に失敗した。うん、はっきり言って練習をサボっていた。やばったと思った僕は、とっても練習を頑張った。

そして本番、たぶん1音も間違えずに終えることができた。自分の感覚だと、あっ、金賞かな、と思っていた。やっぱり金賞だった。とても嬉しかったが、少し当然だとも思っていた。運動会はあまり役に立てなかつたけれど、今回はすごく貢献できたと思う。

### 「合唱コンクールでの成長」

### 1年E組 O・R

中学生になって初めての合唱コンクールがあった。今のクラスのメンバーで何かを練習するということは今回が最後だった。運動会とは違い、「一人が頑張っても結果は変えられない」のが合唱コンクール。一人一人が声を出してバランスをとらないといけない。そんな中特に頑張ったことは三つある。

一つ目は「声出し」のこと。練習が始まると大きめの声でハキハキと歌うことができなかつた。それでも何回も練習してポイントを確認していくうちに自信がつき、だんだんと大きな声で歌えるようになった。本番では緊張して練習以上の大きな声で歌うことはできなかつたけど自分なりに全力で頑張ることができたので良かった。

二つ目は「一回一回の練習で反省をできたこと」。後ろで手をくんてしまつたり、途中で少し動いてしまつたときに「次は動かさず歌うように意識する」と決めて一つずつできなかつたものをできるようにすることができた。なので本番も練習で意識してたことを全てできたと思う。実際、本番では手も横で動かず視線も真っすぐして前を向いて歌うことができた。

三つめは本番で全て出すことができたこと。二日前ぐらいの時、上手く歌えるかや、緊張して練習で意識してきたことを出しきれるかなどで不安な気持ちもあったけど、当日はリラックスして一つ一つを意識し、歌いきることができたので良かった。

今まで小学校でやつたことのなかつた合唱コンクールだったけど、クラスで案や反省点を話し合い練習に取り組むことができた。次にある校外学習では実行委員長になったのでこの全力の気持ちをわすれずに取り組んでいきたい。

### 来週の予定 8:25までに席に着きましょう

日にち		予 定		
11月3日	月	文化の日		
11月4日	火	通常授業①～⑥	学習・読書月間始	わくわく自習室
11月5日	水	通常授業①～④	④カット	
11月6日	木	通常授業①～⑥	わくわく自習室	
11月7日	金	通常授業①～⑥	漢字検定	16:00～